

議会だより



この空のつづきへ
古河の未来を見上げて

Contents

議長・副議長がかわりました、 委員会の構成が新しくなりました	P2
議決一覧表	P3
陳情一覧表、賛否の分かれた議案等	P4
一般質問 (11人)	P5～10
議場コンサート出演者募集	P11
【特集】古河市議会 20年のあゆみ	P12～13

〈撮影者〉Ottyさん (こがキラ photo クラブ)



新体制
始動

6月定例会最終日に

議長・副議長がかわりました



議長 青木 和夫



副議長 鈴木 務

就任あいさつ

市民の皆さまには、日ごろより市議会に対し、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

このたび私たちは、議員各位の同意を得まして、古河市合併20周年という大きな節目の年に、議長ならびに副議長に就任いたしました。

改めて、身に余る光栄に感謝いたしますとともに、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、市民生活や地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、物価高騰や少子高齢化、自然災害への備えなど、将来を見据えた課題への対応が求められております。

そのような中で、市議会としては、円滑な議会運営とさらなる活性化を図り、執行部と両輪となって、未来に誇れる古河市づくりのために鋭意努力していく所存であります。

今後とも、皆さまのご指導とご支援をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

委員会の構成が新しくなりました

◎：委員長 ○：副委員長

名称	人数	委員名	
総務常任委員会	9人	◎ 古川 一美 秋庭 繁 落合 康之 渡邊 澄夫	○ 印出 慎也 高橋 秀彰 青木 和夫 佐藤 稔隆 鈴木 務
文教厚生常任委員会	8人	◎ 齋藤由美子 阿久津佳子	○ 立川 徹 小林登美子 佐藤 泉 鈴木 務 園部 増治
産業建設常任委員会	7人	◎ 稲葉 貴大 関口 和男 増田 悟	○ 佐々木英徳 小森谷博之 黒川 輝男 赤坂 育男
議会運営委員会	6人	◎ 園部 増治 立川 徹 増田 悟	○ 小森谷博之 高橋 秀彰 赤坂 育男
議会だより編集委員会	6人	◎ 齋藤由美子 佐々木英徳 赤坂 育男	○ 小林登美子 阿久津佳子 稲葉 貴大

令和7年第2回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第2号	古河市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	7.6.10	承認
認定第3号	古河市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	7.6.10	承認
認定第4号	古河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	7.6.10	承認
認定第5号	古河市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	7.6.10	承認
認定第6号	令和7年度古河市一般会計補正予算（第1号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	7.6.10	承認
議案第36号	古河市税条例の一部改正について	7.6.20	原案可決
議案第37号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	7.6.20	原案可決
議案第38号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	7.6.20	原案可決
議案第39号	古河市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	7.6.20	原案可決
議案第40号	下辺見児童クラブ施設整備工事請負契約締結について	7.6.20	原案可決
議案第41号	古河体育館解体工事請負契約締結について	7.6.20	原案可決
議案第42号	財産の取得について	7.6.20	原案可決
議案第43号	財産の取得について	7.6.20	原案可決
議案第44号	財産の取得について	7.6.20	原案可決
議案第45号	財産の取得について	7.6.20	原案可決
議案第46号	財産の取得について	7.6.20	原案可決
議案第47号	市道の路線廃止について	7.6.20	原案可決
議案第48号	市道の路線認定について	7.6.20	原案可決
議案第49号	令和7年度古河市一般会計補正予算（第2号）	7.6.20	原案可決
議案第50号	令和7年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	7.6.20	原案可決
議案第51号	令和7年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算（第1号）	7.6.20	原案可決
議案第52号	古河市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	7.6.20	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和7年 陳情第4号	学校の安全対策について	文教厚生常任委員会	趣旨採択 (※)
令和7年 陳情第5号	「死体埋葬許可証」。火葬納骨を何故、死体埋葬と呼ぶのか？「遺体納骨許可証」。故人の尊厳と遺族への哀悼!! 国に請願する陳情書	文教厚生常任委員会	不採択
令和7年 陳情第6号	古河市障害者福祉タクシー利用料金助成事業に関する陳情	文教厚生常任委員会	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

※趣旨採択・・・請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われ、「趣旨については賛成」とするもの

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会		古河市公明党				市民ベースの会			真政会					古河清風会			無党派						
	佐藤泉	鈴木隆	赤坂育男	高橋秀彰	佐藤稔	鶴見久美子	佐々木英徳	増田悟	落合康之	阿久津佳子	黒川輝男	園部増治	青木和夫	立川徹	稲葉貴大	齊藤由美子	渡邊澄夫	印出慎也	小林登美子	小森谷博之	鈴木務	関口和男	古川一美	秋庭繁
認定第4号	○	—	○				○						○					○				○	○	×
認定第5号	○	—	○				○						○					○				○	○	×
議案第40号	○	—	○				×	○					○					○				○	○	×
令和7年 陳情第5号	×	—	×				×	○	×				×					×				×	○	○
令和7年 陳情第6号	×	—	×				○	×					×					×				×	×	○

※議長は表決に加わらないため「—」と表示。

※令和7年6月20日（閉会時）の会派構成による。

この人に決まりました！

～茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員～

令和7年6月22日に茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の任期が満了となるため、定例会最終日に議会議員選挙が行われ、次の議員が選出されました。

渡邊 澄夫 議員

市政を問う

一 般 質 問

第2回定例会の一般質問は、6月17日、18日の2日間行われ、11人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



印出 慎也 議員



職員待遇改善について

問 市職員が育児休業を取得した際、業務を肩代わりした職員の業務が一時的に増えることで、モチベーション低下を招き、最終的に行政サービスの低下が危惧される。そこで育休取得職員の業務を肩代わりした職員への手当を提案する。市の見解を伺う。

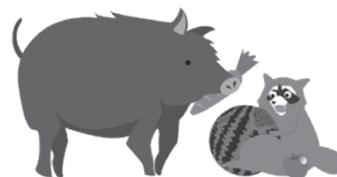
答（総務部長） 福岡市などでは賞与に係る勤勉手当の加算措置として育休応援手当を導入して

いる。業務を肩代わりする職員の意欲向上を図る意味でも、一定の効果があると考ええる。

野生鳥獣等による農作物被害について

問 野生鳥獣等による農作物被害対策として、水戸市やつくば市では電気柵等購入補助金制度を実施しており、古河市でも必要と考える。市の見解を伺う。

答（産業部長） 当該補助金制度は、被害抑制に有効な方法の一つである。国の鳥獣被害防止総合対策交付金の交付要件として、猟友会などの団体の協力を得て、総合的に取り組むことが必要となることから、今後の被害状況を確認しながら関係機関と協議していきたい。



投票率向上について

問 投票率向上に向け、共通投票所の新規設置が必要と考える。仮に導入する場合、想定されるリスクを伺う。

答（選挙管理委員会書記長） 二重投票が懸念され、防止するには、市内投票所とリアルタイムで結ぶネットワークの構築等の整備が必要である。先進自治体の事例を研究し、費用対効果等の課題を整理したい。



小林 登美子 議員



古河市の大雨災害への対応について

問 ①6月29日に実施予定の古河市水害対応総合訓練の内容はどのようなものか、②古河市水害対応総合訓練以後の防災対策について、以上を伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①自宅から浸水想定区域外のゴヨーふれあいスポーツセンターまで自家用車で避難訓練を行うほか、バスによる避難行動要支援者の避難訓練等も行う。②地域防災

勉強会を開催し、地域的特性の説明や発災後におけるスマートフォン活用術を紹介したい。



古河市水害対応総合訓練チラシ（一部）

こどもの居場所づくりについて

問 ①重点施策である「こどもの居場所づくりの支援」の事業内容について、②コーディネーターの役割について、③直近の進捗状況について、④事業の意義と目指す姿について、⑤市が目指す「こどもまんなか社会」について、以上を伺う。

答（市長） ⑤子どもを真ん中に据えることで地域住民との関わりが生まれ、世代を超えた地域関係が育つ社会を目指している。

答（福祉部長） ①施設整備のハード事業ではなくソフト事業であり、居場所づくりに取り組む団体等の育成や運営支援を行う。②居場所運営希望者の掘り起こしや、事業全体のマネジメント等を想定している。③事業者の公募審査を行い、優先交渉権者を決定した。仕様等について整い次第、委託契約を締結し事業開始予定である。④「家以外にほっとできる居場所が少ない」などの子どもの声に、行政として応えることが意義である。「こどもの居場所」を通じて、一人一人の自己肯定感を高めていくことを目指す。



齊藤 由美子 議員



（仮称）古河市新公会堂基本構想・基本計画（案）について

問 ①これまでの取り組みについて、②市民の主な意見や要望はどんなものがあったか、③目指す方向性と基本的な役割について、④必要な施設機能と概要について、⑤概算事業費および財源について、⑥民間活力を使った手法について、⑦今後の運営計画および事業スケジュールについて、以上を伺う。

答（企画政策部長） ①合併時の

新市建設計画において先導的プロジェクトとして文化交流拠点の整備に位置付けられたことから、検討を行ってきた。現在は、市民委員会を設置し、基本構想・基本計画を審議している。②芸術・文化を鑑賞する場、道路や駐車場に恵まれた立地、レストランなどの併設施設を求める意見がある。③誰もが気軽に文化芸術を体感し表現できる空間と、次世代への機会の創出を目指している。役割は、文化の「ド・マンナカ」、にぎわいが生まれ、活気があふれる「居場所」、新たなコミュニティを育てる「よりどころ」、次世代に向けた文化芸術活動の「育成拠点」の4つである。④大ホール1,300席、小ホール300席、創造支援部門はスタジオ4室、

教養部門は学習展示スペース等の機能を持たせる計画をしている。⑤総事業費179億円で、国の補助金といった特定財源で対応する。⑥PFI方式などでの整備を検討している。民間事業者の参加意欲や公共負担の縮減費なども鑑み、事業手法を選定したい。⑦令和9年度末までには事業者を選定し、管理運営計画を策定する予定である。令和10年度から造成、設計工事に約4年を見込み、令和14年度中に運用開始を想定している。





佐々木 英徳 議員



災害対応について

問 新総合防災情報システムは、災害対応機関が迅速かつ的確に情報を共有できるよう設計された防災デジタルプラットフォームである。災害時における情報収集、分析の効率化により、的確な判断と対応が可能となり、被害の軽減や復旧の迅速化が期待される。市長の考えを伺う。

答（市長） 市では円滑に情報共有するためDX化を進めており、

本年度からGoogleオフィスソフトを使用した情報共有システムを整備し、訓練している。実際の災害対応では、多方面から入る情報を整理・集約する点で、今ある新たな機能を活用することが最重要である。新総合防災情報システムについても、国や関係機関と連携しており、情報共有の重要なツールのため、システムの習熟に努めていきたい。

学校生活について

問 ^{はつかいちし}廿日市市では、近年の猛暑を受け、中学生による子ども議会の提案により、2025年までに全小中学校へ冷水機を設置することとなった。特に非接触のボトル給水型冷水機は、熱中症対策に加え、感染症防止や環境教

育にも効果的だと考えられる。導入への考えを伺う。

答（教育部長） 各学校で現在、熱中症対策として、水筒のほかにペットボトルの持参を可能にしている。冷水機の設置は、維持管理費用や日常的な保守点検作業、特に使用についての衛生面などの課題がある。議員紹介の廿日市市のように、非接触型のボトル給水型冷水機を設置している他自治体の導入例も参考にし、協議していきたい。



鶴見 久美子 議員



朝の小1の壁について

問 朝の小1の壁とは、保育園よりも小学校の登校時間が遅いため、働く親が子どもの朝の居場所に困るなど支障が出ることをいう。豊島区や豊中市では、民間企業などに委託し、見守りサービスを開始した。相模原市では、小学生の子どもがいる市職員に対して子育て部分休暇を導入している。①保護者からの問い合わせはあるのか。②事例に対しての所見と問題解消に向

けての課題について伺う。

答（市長） ②相模原市のような制度導入は、朝の小1の壁解消だけでなく、仕事と家庭の両立をサポートできると考える。導入に向けた検討をしていきたい。

答（教育部長） ①1校のみあったと把握している。②豊島区や豊中市の事例は、自治体主導で始業前から児童を預かり、保護者負担を軽減している。課題は、早朝の預かり業務を誰が行うのか、学校以外で預かる場合、場所や安全性確保等が挙げられる。



5歳児健診について

問 5歳児健診は、子どもの特性を早期発見し適切な支援、生活習慣・育児などの指導を行い健康保持、増進を図ることである。導入に対しての所見と課題について伺う。

答（福祉部長） 子どもの発達の特性に応じた支援につなげられる点で意義があるが、国が必須とする医師の配置が困難であり、実施は難しい状況にある。補完対策として、保健師等による5歳児スマイル親子相談会や、児童発達支援センターのスタッフによる巡回相談の実施などにより、5歳児の発達支援の充実に努めている。



佐藤 稔 議員



「ヒアリングフレイル予防」について

問 聴覚機能の低下により、日常会話でのコミュニケーションが取りにくくなることで、心理的ストレスや社会的孤立につながる危険性が指摘されている。「ヒアリングフレイル」に関する周知と早期発見のための「チェックアプリ」の活用等が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（福祉部長） 市ホームページやチラシの配布などによる周知

啓発を行うとともに、各種講座を通して聞こえのチェックを継続していきたい。検査アプリについては、高齢者等が聞こえにくさのために社会参加をためらうことを防ぎ、認知症予防にも大変効果があるものと捉えているが、成果の検証等の確認が不十分な点が課題であり、他自治体の取り組みを含めて研究していく。効果的な補助ツール（OTC集音器等）については、一般的な補聴器に比べ安価で専門スタッフの調整が不要なため、導入しやすいと考える。



OTC集音器の製品例
（写真提供：株式会社 Olive Union）

「ユースクリニック（街の保健室）」の設置について

問 若者が性の悩みや心と体の悩みなどを気軽に相談できる、ユースクリニックと呼ばれるスペースを、若者の居場所づくりの一つとして設置することを提案するが、市の考えを伺う。

答（市長） 若者層に対して、性や心と体に関する正しい知識を伝え、悩みを受け止めていくことは、市の未来を担う若者を支援する観点からも大変重要な課題である。各地の先進的な取り組みを参考にしつつ、地域の中で若者層が気軽に立ち寄れる街の保健室について、どのような形で進めていくのが望ましいか、課題整理と研究をしていきたい。



立川 徹 議員



安心して暮らせる環境整備について

問 ①野生鳥獣の被害、②野良猫の被害、③近隣に迷惑をかけている建築物や土地、以上についての相談内容や現状、市としての対応を伺う。

答（市民部長） ①野鳥によるふん害や鳴き声などの相談が令和6年度は8件あり、樹木の伐採など野鳥を寄せ付けない対策をしている。②餌やりやふん尿の苦情等が令和6年度は43件あり、

職員が現地確認し、餌やりをやめるようお願いしている。

答（産業部長） ①アライグマやイノシシによる農作物被害が多く寄せられている。箱わなの貸し出しや、地域の方の見回り等の協力で事故防止を図っている。

答（都市建設部長） ③空き家の相談件数は、令和5年度278件、令和6年度298件と増加している。現地確認などを行い、所有者等へ改善指導をしている。

古河市の広報活動について

問 ①広報活動に利用している手段や方法、課題および改善に向けて取り組んでいることを伺う。②古河市が伝わる広報、市民とつながる広報を実現するために、どのような方向性やビジョ

ンを描いているのか伺う。

答（市長） ②市民の共感を得ることを目標に、行政と市民が双方向にキャッチボールできるような情報発信・情報共有を目指している。今後もあらゆる年齢層に市の情報を届けられるよう、効果的な発信方法を探っていく。

答（企画政策部長） ①市ホームページ、LINE、インスタグラム等がある。市民が必要とする情報を正確かつ迅速に届けられることができるかを課題とし、SNSなど各種メディアを活用して情報発信を行っている。





阿久津 佳子 議員



家庭系一般廃棄物について

問 一般廃棄物減量化において

①専ら物^{もっぱらぶつ}([※]) (資源ごみ) の分別状況と課題、②ごみ処理費用 (手数料) を含む有料指定ごみ袋制度導入は可燃ごみ減量に必ずしもつながらない、正しい分別や資源ごみリサイクルの強化によりごみ減量が成就すると考える、③有料指定ごみ袋制度導入スケジュール、④制度導入や市条例改正も視野に入れた市長の公平性という観点の考え、⑤古河地

[※]専ら物…専ら再生利用の目的となる産業廃棄物または一般廃棄物を指す

区のごみ減量化実績から有料指定ごみ袋制度ではなく、従来の搬出方法や単純指定袋制度でもよいのではないか、⑥物価高騰下、今すぐに制度導入を行わなくてもよいのではないか、以上について、所見を伺う。

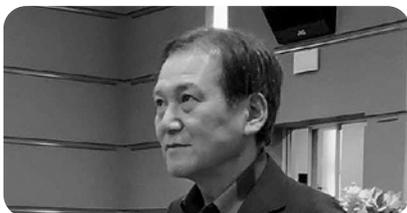
答 (市長) ③令和8年4月1日導入に向けて変更はない。④古河地区も同時期の制度導入が、受益者負担の面からも望ましい。制度導入による手数料は、市の歳入になる予定で、ごみ処理事業に充てることで公平性が保たれると考える。⑤さしま環境管理事務組合の方針は、有料指定ごみ袋制度導入である。ごみ減量化につながるため、組合の費用負担削減の方策としても有効であるとする。⑥市民に金銭

的負担を強いるが、ごみ減量化に向けた一つの手段である。市民に理解いただけるよう、丁寧な説明を行っていく。

答 (市民部長) ①総和、三和地区では5種類、古河地区では7種類の分別だが、分別不十分の収集不能を示す警告シールが貼られたごみが残存し、行政自治会で再分別による清潔保持が必要という声も多数ある。②制度導入により、ごみ減量化の効果があつた事例もある。制度導入をきっかけに、さらなる分別やリサイクル率の向上につながると考えている。



資源ごみのリサイクルがごみ減量化の第一歩!



関口 和男 議員



デジタル教科書について

問 ①市の現状を伺う。②効果、課題について伺う。③国際学習到達度調査 (PISA)^(※)によると、デジタル教育先進国であるフィンランドは、近年は成績を落としている。デジタル教科書の扱いは慎重になるべきだが、今後の展望を伺う。

答 (教育長) ③ICT支援推進委員会研修会を通じ、デジタル教科書の効果的な活用について

[※]PISA…3年ごとに15歳児を対象に行う読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野についての調査

の研修を計画的に実施していきたい。

答 (教育部長) ①英語は全ての小中学校に、算数・数学は小学校17校、中学校6校に提供され、紙の教科書と併用している。②動画や音声の使用といった学習理解を深めるツールとして効果がある。課題は、これらの特徴を生かした授業づくりである。

夏休みの安全指導について

問 ①安全指導計画について伺う。②近年、大きな事故等があったか伺う。③学校離れ、児童生徒間のコミュニケーションの希薄化が懸念されるが、今後の展望、所見を求める。

答 (教育長) ③各学校において、

オンライン相談窓口を設け、児童生徒が気軽に相談できる環境を整えることで、教職員とのつながりを保ち、必要な支援を継続していく。長期休業だからこそできる体験活動により、家庭の絆や地域の中で子どもたち同士のふれあいを深める良い機会になると考えている。

答 (教育部長) ①夏季休業前の集会などで、水難事故等の防止、熱中症対策等について指導している。②昨年度の実績は、水難事故ゼロ件、交通事故2件、熱中症による救急搬送はゼロ件である。





古川 一美 議員

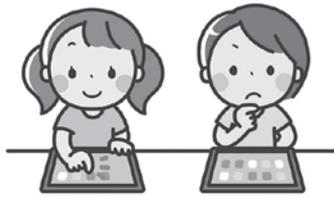


古河市におけるGIGAスクール構想^(※)について

問 児童生徒一人一台端末の整備やデジタル教科書の導入が進められている。①導入経費、更新費用の見込み、②学習効果、③デメリットについて、④デジタル教科書等の多用は、読解力や思考力の低下、健康面の弊害をもたらすと指摘する専門家が多い。先進事例の海外では、学力低下などが問題となり紙の教科書に戻し、小学生への端末配布をやめた国もある。今後の方

※GIGA スクール構想…多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること
※多目的防災シェルター…自然災害に加え、戦争、放射線などを想定し、有事の際に命や財産を守るためのシェルター

針を伺う。



答 (教育部長) ①端末とネットワーク整備等で総額約7億1,545万円である。更新費用は、本年度は約4億4,456万円計上している。②デジタル教材の活用やオンライン学習の実用により、教育の質が向上したと認識している。③試行錯誤を通じた思考力、表現力が育ちにくくなる可能性がある。④日本は始まったばかりで、影響など明確にはいえないが、学校現場では内容に応じ適宜活用することで、授業が分かりやすくなると実感している。

健康面では随時、使い方の指導が必要と考える。紙もデジタルにもそれぞれの良さがあるので、どう活用していくのが効果的か引き続き検討していく。

多目的防災シェルター^(※)について

問 日本周辺の国際情勢を考えると、自然災害のみならず有事の際を考慮したシェルターが必要では。公共施設の建て替え時等に機能強化を検討できないか。

答 (市長) シェルター機能を併せ持たせると、施設本来の機能に制限が課され、膨大な費用が掛かる。国の動向を注視し、古河市国民保護計画に基づき、市民の安心安全に結び付く施策を可能な範囲で行っていく。



秋庭 繁 議員



スクラップヤード騒音・振動問題について

問 スクラップヤードの騒音問題等は社会問題になっている。市民からの苦情に対し、茨城県の条例を活用して改善指導をすべきだが取り組んでいるのか。

答 (市民部長) 県条例に基づいた改善・勧告等は県が行うが、苦情があった場合は市でも、現地確認し、改善指導をしている。

物価高騰対策について

問 市長の選挙公約である給食費無償化は臨時交付金ではなく、一般会計の財源を使うべきである。物価高騰で影響を受けた子ども食堂や生活者への支援を優先すべきだったのではないか。

答 (市長) 財源等のさまざまな検討をしつつ、予算編成しており、本年度予算は議会の議決を経て執行している。今後は、より市民に寄り添った施策展開に使っていきたい。

コンプライアンスについて

問 ①大堤地区開発における市民からの「ごく少数の4人だけで進めている」という疑義について、②副市長出身の株式会社博報堂と、ブランド戦略の委託先である株式会社読売広告社の関係は、利益相反に当たらないかについて

答 (市長) ①そのような事実はない。

答 (副市長) ②博報堂、読売広告は、博報堂DYホールディングスの持ち株会社である。私自身、博報堂を退社し、プロポーズ自体も市の立場で選んでおり、両者とは全く関係ない。



議場コンサート出演者募集

古河市議会では市民の皆さんに気軽にお越しただける親しみやすい議会を目指し、議場コンサートを開催しています。

出演者は随時募集しており、過去に出演された方でも応募可能です。

日頃の練習の成果を議場で発表してみませんか。

たくさんのご応募、お待ちしております。

開催日程

- ・古河市議会定例会時（3月・6月・9月・12月）
- ・午前10時から1組20分程度（準備、搬入搬出含む）

場所

- ・古河市議会議場（古河庁舎3階）

応募資格

- ・原則、市内在住・在勤の音楽を愛好している歌唱・楽器の演奏ができる人、または団体。
- ・フォーク、ポップス、ジャズ、クラシック、民族音楽等、部門の制限はありません。
- ・ただし、本会議場で演奏等が可能なものとし、出演に要する経費は全て出演者の負担になります。

応募方法

- ・応募は以下の2通りの方法からできます。
- ・申し込みは随時受け付けています。



出演者応募申込書を提出

議会事務局またはホームページにある申込書を提出してください。



応募フォームから申し込み

インターネットから申し込みができます。

【応募フォーム】

<https://logoform.jp/form/WpUV/877699>



古河市合併 20 周年記念特集

古河市議会



平成 17 年 9 月 12 日に、古河市・総和町・三和町が合併し、新「古河市」が誕生しました。これまでの古河市議会のあゆみを振り返りながら、取り組んできた議会改革等について紹介します。これからも未来ある古河市のため、市民の皆さんとともに歩んでいきます。



初議会の様子

2005 年 (平成 17 年)

- 古河市・総和町・三和町が合併し、新「古河市」誕生 (人口14万7千人)
- 初議会開催
合併時の議員数は 73 人

2005

2006 年 (平成 18 年)

- 議員定数条例制定
73 人⇒30 人
議員定数は合併時の 73 人から 30 人へ

2007 年 (平成 19 年)

- 録画中継配信開始
インターネットで録画映像を配信開始
- 議員定数条例改正
30 人⇒28 人
議員定数を 2 人削減

2010 年 (平成 22 年)

- 議会だより 縦書きから横書きへ
幅広い年代が読みやすくなるよう、横書きへ変更した。

2011 年 (平成 23 年)

- 会議録システム導入
インターネットがあれば、いつでも、だれでも、自由に議会会議録の検索と閲覧ができるように。

2014 年 (平成 26 年)

- 議員定数条例改正
28 人⇒24 人
議員定数を 4 人削減

2015 年 (平成 27 年)

- 古河市議会基本条例を制定
市民福祉の向上と市勢の発展に寄与することを目的に、議会や議員の役割や責務を明文化した条例。
- 議場コンサートを初開催
市民の方に、気軽に議会へお越しいただける親しみやすい議会を目指し、開催された。

20年のあゆみ



2016年(平成28年)

●ライブ中継配信開始

インターネットで本会議のライブ配信を開始

●一般質問の一问一答方式を導入

一般質問の内容が分かりやすくなるように、質問と答弁が繰り返される一问一答方式を採用した。

●議場をリニューアル

大型モニター、傍聴者用モニターを各2台設置。また、電子採決システムも導入した。

2021年(令和3年)

●古河市女性議会を初開催

市政への女性参画を進めることを目的として開催した。

2025年(令和7年)

●現在議会で検討中

- ・一般質問の質問方式および答弁順の見直し
- ・議会BCPの策定

2018年(平成30年)

●各常任委員会のライブ中継が始まる(インターネット)

2020年(令和2年)

●新型コロナウイルスへの議会の対応

①3密回避

入れ替え制を導入し、出席議員を半数程度に調整して開催した。

②議会費削減

切れ目のない感染拡大防止対策費の財源確保のため、令和2年度議会費予算から合計1,190万円(議員報酬の削減390万円、政務活動費の返還(50%分)360万円、視察研修関連経費の削減440万円)を削減した。

●タブレット端末・ペーパーレス議会システムの導入

全議員のほか、特別職・部長にも一人一台配布。

2022年(令和4年)

●議会運営委員会でオンライン会議を開催

災害が起きたことを想定し、一部の協議をオンライン会議に切り替えて実施。

2017年(平成29年)

●政務活動費のホームページ掲載

●議会報告会を初開催

市民に身近で開かれた議会づくりを目指して、市民との情報や意見交換会の場として開催された。



議会報告会の様子



モニター越しの挙手による採決

●古河市議会公式YouTubeチャンネルを開設

●古河ケーブルテレビによる議会生放送を開始

議員表彰

市議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、全国市議会議長会および茨城県市議会議長会より、それぞれ3人の議員が表彰されました。



❁ 全国市議会議長会 ❁

- ≪議員在職 20 年表彰≫ 鈴木 隆 議員
- ≪議員在職 10 年表彰≫ 稲葉 貴大 議員
- ≪正副議長 4 年表彰≫ 赤坂 育男 議員



❁ 茨城県市議会議長会 ❁

- ≪議員在職 20 年表彰≫ 鈴木 隆 議員
- ≪議員在職 8 年表彰≫ 阿久津佳子 議員
- ≪正副議長 4 年表彰≫ 赤坂 育男 議員

◆◆◆ 令和7年 第3回定例会の会期予定 ◆◆◆

日	月	火	水	木	金	土
	9/1	2	3 本会議 (開会)	4 休会	5 本会議 (質疑)	6
7	8 総務常任委員会 産業建設常任委員会	9 文教厚生常任委員会	10 決算特別委員会 (一般会計)	11 決算特別委員会 (一般会計)	12 決算特別委員会 (特別・企業会計)	13
14	15	16 議場コンサート 本会議 (一般質問)	17 本会議 (一般質問)	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (閉会)	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

第2回定例会の傍聴者数

本会議	45 人
委員会	4 人
議場コンサート	19 人
合計	68 人

※傍聴者数は延べ人数

議会の様子・会議録
をみましょう！

古河市議会ホームページ、
または下記2次元コードから
ご覧になれます。



議会中継



会議録検索

- 開催時間は午前10時です。
- 産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分です。
- ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

議会だより編集委員会委員長の齊藤由美子と申します。
新たな委員会がスタートいたしました。

議会の内容は、難しく感じられることもありますが、市民の皆さまの暮らしに直結する大切なテーマが多く議論されています。少しでも関心を持っていただければ幸いです。より分かりやすく、親しみのある紙面づくりを心掛けてまいります。

委員長 齊藤 由美子

【議会だより編集委員会】

- 委員長 齊藤由美子
- 副委員長 小林登美子
- 委員 佐々木英徳 阿久津佳子
稲葉 貴大 赤坂 育男

古河市議会事務局
古河市長谷町 38 番 18 号
☎ 0280-22-5111 (代)